

平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	富澤一明
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3519
事務事業名	4197 基盤整備促進事業											
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
施 策	05012100 農業の活性化											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	060201 農林水産業費・農地費・土地改良事業費										
	事業	050000 基盤整備促進事業										
事業目的						事業概要・効果						
基盤整備事業により、果樹等の集出荷時の荷傷み防止、機械化による合理化を促進し、農家経営の合理化・安定を図る。						果樹主体の須坂市の農業振興のため、集出荷時の荷傷み防止・機械化を促進するための基盤整備事業を実施することで、須坂市農業の経営の合理化・安定化を図る。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
井上地区 村石地区	沼目地区 村石地区
平成29年度 実績	平成30年度 予定
沼目地区 村石地区	沼目地区
平成31年度 予定	平成32年度 予定
仁礼地区 沼目地区	仁礼地区

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		9,700	22,150
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	4,437	10,710
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		5,263	11,440
人員数(人)	正規職員	0.6	0.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,289.4	2,144.7
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,289.4	2,144.7
市民一人当たりの経費		0.3	0.5
総額		13,989.4	24,294.7

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	9,661	農道整備工事
19節 負担金補助及び交付金	39	県土地改良連合会賦課金
その他	0	

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	1,500	測量設計業務
15節 工事請負費	20,500	農道整備工事
19節 負担金補助及び交付金	150	土地改良連合会賦課金
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市が管理する道路であり、果樹等の集出荷時の荷傷み防止、機械化による合理化を促進し、農家経営の合理化・安定を図るため必要な事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	沼目地区農道整備を行うことで、集出荷時の荷傷み防止・機械化を促進を図れた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	農業基盤整備促進事業により事業を進める。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

農業生産基盤の整備により生産性を高め、農業経営の合理化・安定化を図るため、事業を計画的に進めた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>農業生産基盤の整備により農業振興に繋がった。</p>		<p>農業基盤整備は、農作業の効率化、集出荷時の荷傷み防止のため重要である。農家の経営合理化の促進を図るため、計画的に事業を進めていく。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	